

# 令和2年度大学院入学試験問題

(後期募集)

教育実践高度化専攻

学習臨床・授業研究コース

## 注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙とは別である。
- 2 解答は、解答用紙のマス目にそって記入すること。
- 3 解答用紙の1枚目の所定の欄に問題番号を記入すること。
- 4 解答用紙の1枚目、2枚目及び3枚目の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

次の問題 1 から問題 3 の中から 1 問を選んで、1200字程度で論述しなさい。

### 問題 1

「総合的な学習の時間」における内容の取扱いにおいては、「グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、地域の人々の協力も得つつ、全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと」について配慮することが求められている（『小学校学習指導要領（平成29年告示）』、『中学校学習指導要領（平成29年告示）』、平成30年）。

このことを踏まえて、あなたは「総合的な学習の時間」において、どのような学習活動を構想し展開しますか。対象とする学校種や学年、意義やねらい、具体的な学習活動内容を示しながら、あなたの考えを論述しなさい。

### 問題 2

次の二つの問いに答えなさい。

- (1) 「グループウェア」とは、どのようなものを説明しなさい。
- (2) 「グループウェア」を活用した授業として、どのようなものが考えられるか、あなたの考えを論述しなさい。

### 問題 3

今回の学習指導要領の改訂では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、教科等における資質・能力を育成することが求められています。そのため学校では、児童・生徒の話し合いにより学習内容の理解を深めようとする授業が、一層重視されるようになってきました。

その際、発言は活発でも理解が深まらない場合があることも指摘されています。自分の経験などをもとに、そのような場面についての具体例を1～2個挙げなさい。また、その場合に、理解を深めるためにどのような支援や条件があればよいか論述しなさい。

なお、学校種は自由に設定してかまいません。